

民謡民舞フェスティバル

10月4日(日) 12:30開場、13:00開演
コラニー文化ホール・小ホール

未来にはばたく子供たち

10月4日(日) 第4部
コラニー文化ホール・小ホール

開催状況

秋晴れの好天に恵まれた10月4日(日)。第15回やまなし県民文化祭民謡民舞フェスティバルがコラニー文化ホール小ホールに於いて開催されました。参加団体19団体、出演者数330名、4部構成からなる舞台発表となりました。

1部・ふるさとやまなしの唄と踊り、2部・唄いつがれる全国の民謡とし、各団体ごとに、唄と踊りを発表しました。また、毎年テーマを決めて行われる共演では、3部・「山の唄、海の唄」のテーマのもと、全国各地に伝わる民謡民舞を披露しました。

ナレーションを朗読部門の永田京子さんをお願いし、舞台の雰囲気を盛り上げていただきました。

4部・参加促進事業では、「未来にはばたく子供たち」と題し、年少から高校2年生まで51名が出演、武田節（銭太鼓）、津軽じょんがら曲弾、甲州音頭の合唱の他、葦崎甘利小学校5・6年生による地元の民謡、綾棒おどりなど、日頃の練習の成果を発表してくれました。毎年、観客の皆さんにアンケートをお願いするのですが、子供たちの舞台は「素晴らしかった」「また来年も見たい」と大変好評でした。

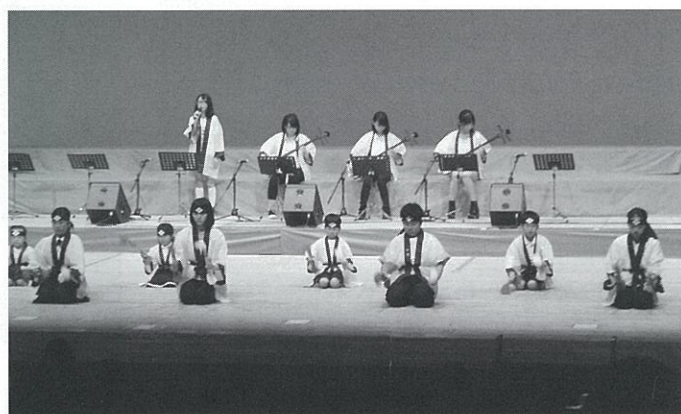
これからも、多勢の子供たちが参加出演できるよう努力していきたいと思えます。

○民謡民舞フェスティバル

参加団体……………19団体
出演者数……………330名
入場者数……………600名

○未来にはばたく子供たち

指導者数……………1名
参加者数……………51名



書道展

11月5日(木)～10日(火) 9:00～17:00
(10日は15:00まで)

山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B・C

書道体験教室～カレンダーに書いてみよう～

12月13日(日) 13:00～16:00

山梨県立美術館・ワークショップ室

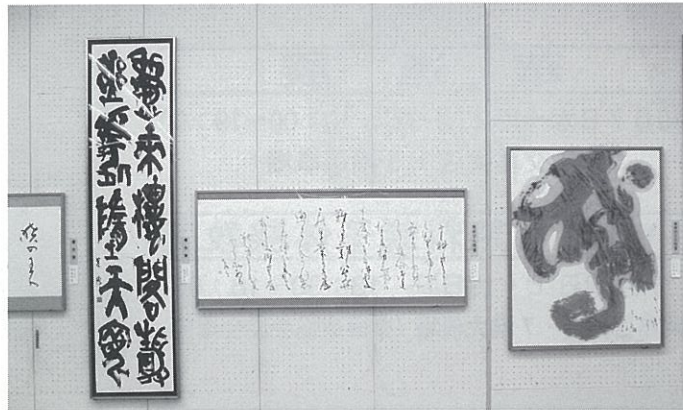
開催状況

平成27年10月4日、中央より日展会員の高木聖雨先生をお招きして審査会が行われた。

応募総数310点、その内の入選283点と委嘱作品62点の計345点を展示した。公募作品は昨年より若干の減少を見たが、熱意の感じられる作品群であった。「全国の書壇の流れを網羅してバラエティーに富んでおり、古典を尊重する中に創意工夫のされた作品が目立っていた」との総評であった。丁寧な審査をして頂いた結果、県民文化祭賞をはじめ優秀賞・奨励賞計21点が選出され「大変レベルの高い作品である」との嬉しいお褒めのことばを頂いた。

又、今年も2回のギャラリートークを実施した。トーク担当者により、その感想や進め方等異なることから、2回とも参加した熱心な人もいて、これからの作品制作の糧となったようだ。

12月13日(日)には、書道部門恒例となった、参加促進事業のカレンダー作りを美術館ワークショップ室で実施した。年末の楽しみとして毎年参加してくれる人もあり、盛況であった。



○書道展

応募点数

漢字…………… 166点

一字書…………… 51点

調和体…………… 16点

かな…………… 41点

篆刻…………… 22点

刻字…………… 14点

(公募) 出品総点数…………… 310点

委嘱出品数…………… 62点

陳列総点数…………… 345点

入場者数…………… 1,050名

○書道体験教室

指導者数…………… 11名

参加者数…………… 100名

華道展

10月7日(水)～12日(月・祝) 10:00～19:00
山交百貨店・5階催事場

いけばな無料親子体験教室

4月18日(土)・19日(日) 13:30～16:00
岡島百貨店・7階大催場(県華道協会展会場内)

開催状況

第15回やまなし県民文化祭華道展は前回と同一会場、山交百貨店5階中央催事場に於いて開催しました。展示会場のレイアウトについては前回に比し、入場者の鑑賞法に更に工夫をしたことが好結果をよび、2,946名という想像を遥かに超えた入場者を迎えることができました。このことは華道協会が開催する華道展では初めての記録です。

また、「いけばな無料親子体験教室」の実施については、会場の都合で、県民文化祭華道展会場内ではなく、第23回山梨県華道協会展会場中に、同展覧会場内で、平成27年4月18日(土)・19日(日)両日に開催し、120組に体験して頂きました。



○華道展

出瓶者数

山梨県華道協会加盟流派代表

…19名

同流派選抜会員…………… 114名

合計…………… 133名

入場者数…………… 2,946名

○いけばな無料親子体験教室

参加者数……………120組(2日間合計)

指導者……………20名

ハンドクラフト展

10月29日(木)～11月3日(火・祝) 9:00～17:00
(3日は15:00まで)

山梨県立美術館・県民ギャラリーC

ハンドクラフト体験教室

8月8日(土) 10:00～15:30
甲府市遊亀公民館・講義室2号

開催状況

第15回やまなし県民文化祭「ハンドクラフト展」は、山梨県立美術館・県民ギャラリーCで開催されました。

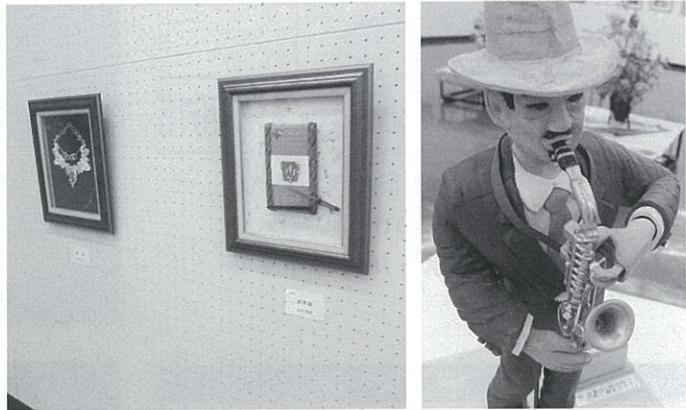
会員11名、一般公募入選者56名が出展いたしました。展示内容は「押花絵」・「創作人形」・「芸芸盆栽」・「籐工芸」・「アメリカンフラワー」・「銀粘土」・「布3Dアート」・「能面」・「粘土工芸」・「デコパージュ」・「陶芸」・「彫金」・「石アート」・「オートマタ」・「パッチワーク」・「切り絵」・「ガラス」・「フォークアートペインティング」の18分野の力作が展示されました。

手動で手や体、楽器を動かしながら音楽を奏でる人形の作品には、子供も大人も「スゴイ」「おもしろい」と言いながら笑顔がほころび、楽しんでいました。そんな空間を共有できたことを幸せに感じました。

多彩な作品を一堂に見られたと好評でした。また、作品の素晴らしさに感動し、芳名帳に一句プレゼントして下さった方もおり、喜ばしい限りです。最終日には、表彰式も終え、実りの多い展示会となりました。

本年度も参加促進事業の一環として「ハンドクラフト体験教室」を実施しました。親子で楽しんでいただけるよう、8月に「デコパージュ」と「創作人形」の体験を行いました。子供達と一緒に作る楽しさを学べた、また機会があれば参加したいと好評でした。手作りの楽しさも実感していただきました。

今年度は新会員も増え、また新分野の入部希望もあり、「ハンドクラフト部門」では来年度に向け会員一同初心を忘れずに、さらなる内容の充実と技術の向上・発展に努めて参りたいと思います。



○ハンドクラフト展

参加者数 会員……………11名
一般公募入選者……56名
合計……………67名

入場者数……………1,680名

○ハンドクラフト体験教室

指導者……………6名
参加者数……………54名

洋舞公演・ダンスフェスティバル2015

11月28日(土)

18:00開場、18:30開演

コラニー文化ホール・小ホール

開催状況

「洋舞公演・ダンスフェスティバル2015」は、11月28日(土)コラニー文化ホールで開催しました。

前日が金曜で登校日であり、学生出演者多数の為、今回はゲネプロと本番を1日で行いました。もう何年も前より各学校の秋の行事がまとまった期間に行われる事が無くなった流れを受け、洋舞の中でも団体で動く事の大変さを感じながらも柔軟に対応できているようです。

参加団体数は5団体。出演者数は138名。そして入場者は641名となりました。様々に世の中が変化してゆく中、柔軟な対応が非常に大切になってきます今回は、1つの試みとして出演者の年齢層を広げました。同時にそのことは作品の内容の層にも厚みが出るという効果がありました。観客の層も幅が広いのですから、その皆様に芸術鑑賞の楽しさ・喜びを伝えて行く努力を今後も続け、試みて行きたいと思っております。次回も洋舞団体としてのチャレンジを各団体の努力、団体同士の連携、協力のもと行っていきます。

参加団体	5団体
出演者数	138名
入場者数	641名



朗読フェスティバル

11月23日(月・祝) 12:30開場、13:00開演
山梨県立文学館・講堂

夏の朗読教室

8月9日(日) 10:00~15:30
山梨県立図書館・多目的ホール

開催状況

・朗読フェスティバル

「朗読フェスティバル」は11月23日に文学館講堂で盛大に開催されました。公募による出演者は小学生から80歳代まで幅が広がり、多彩な発表となりました。

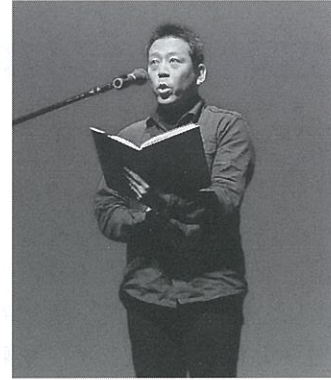
第1部は、小・中・高校生を中心に若い人向けの作品で構成しました。進行のアナウンスを高校生が担当したのは参加促進活動の成果といえます。

第2部は、県内で活動する経験者が名作を朗読して会場を魅了しました。舞台の読み手と会場の聴き手が融け合う雰囲気は朗読の醍醐味とも言えます。フラワーデザイン部門の奥山先生に御協力いただき、効果的な空間美を醸し出す舞台となりました。

いま朗読の裾野は全国に類がないほど広がりました。今後の課題は表現力の向上と若い人の参加にあります。良質の朗読を全国に向けて発信してまいります。

・夏の朗読フェスティバル

小学校の朝読書や児童館での読み聞かせ、図書館の活動などで参加を呼びかけます。夏の朗読教室の体験を朗読フェスティバルで発表。若い人が総合舞台に出演する一連の流れが出来上がっています。



○朗読フェスティバル

出演者(組)数……………17組27名

入場者数……………312名

○夏の朗読教室

指導者数……………9名

参加者数……………72名

日本舞踊公演

平成28年2月20日(土) 11:30開場、12:00開演
コラニー文化ホール・小ホール

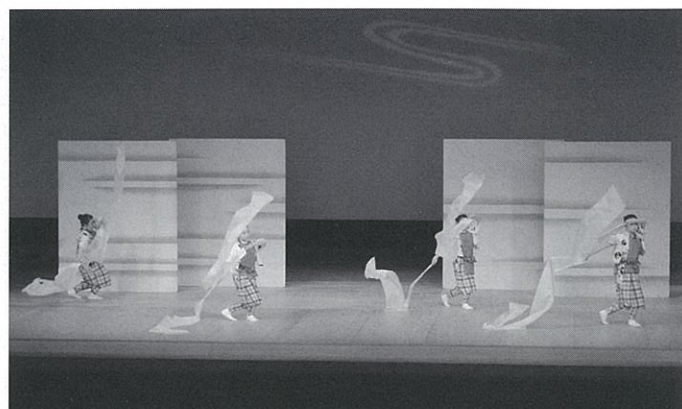
次代へ伝統芸能の魅力を継承

平成28年2月20日(土)
コラニー文化ホール・小ホール

開催状況

如月の雨にみまわれた、第15回やまなし県民文化祭日本舞踊公演が盛会に華やかに幕を閉じました。国文祭の前後、各々の流派の申し出により充電期間をとり、3年振りの開催となりました。日本舞踊は他部門と違い、多額の費用がかかり、本格的舞台はなかなか出来ませんでしたので、念願の公演となりました。総勢17名(子ども7名、高校生2名、大人8名)と少ない出演者数ではありましたが、全体を通して立派な出来映えでした。子ども達の上達振りに目を見張り、高校生による「子守」「供奴」は初めての衣裳の重さに驚きながらも見事に踊りきり、音、衣裳、大道具、小道具の中からその時代背景等々を多く学べたと思います。若手ホープが活力溢れる演技で観客を感動させ、日舞に対する年齢層の拡大にも繋がったと信じたいです。私達関係者以外は日舞を見たこともない方々が多勢います。県民の方々にこの文化祭の日本舞踊公演を通して、日舞の美しさ、楽しさを味わっていただきたいと思います。私達も日本舞踊を広める活動、世代交代、会員を増やす、等の問題を抱えながら一步でも向上を目指して行こうと思います。

参加流派……………花柳流、西川流
出演者数……………17名(子ども7名)
入場者数……………600名



文 学

表彰式 平成28年2月27日(土) 14:00~16:30
山梨県立文学館・研修室

宮澤賢治の絵本の世界へ「つくってみよう、賢治の絵本」

11月28日(土) 13:30~16:30
山梨県立文学館・研修室

開催状況

第15回やまなし県民文化祭文学部門の作品募集は、例年どおり、小説・児童文学・エッセイ・詩・短歌・俳句・川柳の7部門で実施し、263名の方から273作品をお寄せいただきました。部門ごとに審査した結果、選ばれた受賞者のみなさんには、2月27日に行われた表彰式で賞状を授与しました。今年度は、県民文化祭受賞者のおひとりが大学生であり、若い方の今後の活躍にも期待するところです。

参加促進事業は、本年度は児童文学部門で、画本作家 小林敏也先生をお招きして11月28日(土)に実施しました。

参加促進事業は午後からの開催でしたが、午前中に県芸術文化協会の事業として同会場で「宮澤賢治の画本(えほん)の魅力」と題した講演も実施し、丸一日かけて、宮澤賢治の魅力に迫りました。

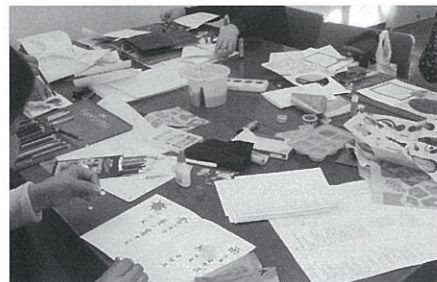
参加促進事業は「つくってみよう、賢治の絵本」と題したワークショップを実施しました。賢治の作品を1つ手にとっていろいろな手法で絵本をつくる、という作業を3時間かけて行いました。材料は全てこちらで用意し、いろいろな手法で絵本に仕上げ、最後は小林先生と宮澤委員の講評のあと、参加者それぞれが互いの作品を選びあげ、最高の評価を得た方に小林先生の画本が提供され、皆満足し、楽しく作業を終えたようでした。

午前の講演は「宮澤賢治の画本(えほん)の魅力」と題し、1時間30分あまりを宮澤委員が小林先生に対して画本に対するさまざまな質問や疑問をなげかけ、それにお答えして頂くといったインタビュー形式で行いました。小林先生の画本への考え方・手法、そしてその発表形式など、多くの興味あるお答えを頂き、聴衆も満足されたようでした。大変有意義な1日でした。

○応募者数

- 小説.....13名
- 児童文学.....5名
- エッセイ.....22名
- 詩.....18名(28作品)
- 短歌.....78名
- 俳句.....46名
- 川柳.....81名
- (合計).....263名(273作品)

- 宮澤賢治の絵本の世界へ「つくってみよう、賢治の絵本」
- 講師.....2名
- 参加者数.....15名



第15回やまなし県民文化祭文学作品集
「県民文芸2015」